



# 5月の園だより

令和5年5月1日

目黒区立八雲保育園 園長

## ～安心できる場所をみつけて～

新年度がスタートして1か月がたちました。「おはようございます」と毎朝、新しい場所を覚えて靴をしまう子どもたちの表情からは「今日は、どんな楽しいことがあるかな」というわくわく感が伝わってきます。時には、保護者の方と離れがたい子もいますが、ふと天井を見上げ「うわぁ（おっきい）」と目線の先にある玄関を泳ぐこいのぼりに手をのばすと笑顔になっていました。人数報告当番に来た5歳児に「みんなで考えて工夫しながら作ったこいのぼりは、小さな友達の元気のもとになっているんだね」と話すと「だってビー玉（絞り染めのために）ぐるってしぼるやつ大変だったんだ」とジェスチャーで教えてくれている、うれしそうな照れくさそうな表情で応えてくれました。新しい環境の中で、子どもたちは「自分で好きなこと、好きな場所」を見つけ始めています。部屋の棚の間に入って「ひなたぼっこ」をする子、庭の植木のあいだからバナナ虫を見つけ友達と毎日観察する子など「また明日、ここに来ると楽しいことがある」と安心して登園できる環境を整えていきたいと思います。

今月よりクラス懇談会が始まります。保護者の皆様同士の懇談の機会にもなりますので是非、ご参加をお待ちしています。

### 5月の行事予定

春の遠足（4・5歳児クラス）

身体計測 避難訓練

春の健康診断

### 6月の行事予定

納涼会

身体計測 避難訓練

### 【クラス懇談会】

0歳児クラス

1歳児クラス

2歳児クラス

3歳児クラス

5歳児クラス

4歳児クラス

\*詳細は後日お知らせします。



## 保育園での生活～進級から1か月たって～

### めだか組（0歳児クラス）

入園して間もない子どもたちですが、自分のお気に入りの玩具を手にとっては舐めたり振って音を出すなどを楽しんでいます。遊びながらも保育士のことを気にして後ろを振り返り、目が合うと安心したようにニコッと笑顔を見せてくれます。子どもたちは、保育士が布で顔を隠し「いないいない」と言うと、手を伸ばし布を取ります。「ばぁ」と言いながら顔を出すと嬉しそうです。安心できる保育士とたくさん遊ぶ経験を重ねていながら、人と触れ合う心地良さを感じられるようにしていきたいと思います。



### あひる組（1歳児クラス）

子どもたちは新しい環境にも慣れてきて、チェーリング落としや積み木などで遊んでいます。保育士が積んだ積み木を繰り返し崩して楽しんでいたのですが、積み木を手にした子が自分で積み木を積み始めました。一つ乗せることが出来ると保育士の方に視線を向けます。「すごいね」と保育士が拍手をして応えると、一緒に手をたたき嬉しそうにしています。その後も2、3個と積み木を乗せるたびに保育士の方を見てパチパチと拍手をし、嬉しい気持ちを一緒に感じる事が出来ました。これからも子どもの目線や表情から気持ちを汲み取り受け止めながら遊びの中で感じる面白さや喜びにたくさん共感し、安心して楽しめるようにしていきます。



## らっこ組（2歳児クラス）

室内でブレスレットを手首や足など身に付けて楽しんでいる子がいました。その姿をじっと見ていた子は”おもしろそう”と思ったようで、同じように自分にも付け始めます。保育士が「いっぱいだね」と声をかけると「いっぱい」と嬉しそうに見せてくれました。子どもたちは日々の遊びの中で保育士や友達の刺激を受けながら、自分なりの楽しさを見つける姿が見られています。これからも一緒に楽しみながら、好きなことで存分に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。



## ぺんぎん組（3歳児クラス）

子どもたちは新しい環境に少しドキドキしていたようですが、周りのことにも目が向くようになってきました。フリースペースにいるか組としろくま組が作った積み木の塔を見つけた子が「高かったね」「すごいあったね」と憧れの表情で保育士に話します。「作ってみようか」と積み木を並べると、周りの子どもたちも一緒に積みはじめ「高くなったね」「もうこんなに高いよ」と嬉しそうに話していました。異年齢児の子どもたちの遊びや姿を見ることで様々な刺激を受け興味を持った事を、保育士や友達と一緒に試しながら子どもたちの意欲につなげていきたいと思います。



## いるか組（4歳児クラス）

いるか組の子どもたちは、進級してから朝の支度を自分でしています。その様子を近くで見ていると「きれいに畳んで入れるんだ。だってお洋服選ぶ時にわかりやすいもん」と言いながら一枚ずつ丁寧に入れたり「洋服いっぱい、もうカゴに入らないや、どうしようかな」や「あれ？靴下ばかりいっぱいになっちゃった」と自分でやるからこそ気付き、考えている姿が見られます。支度を終わると「もう出来ちゃった、すごいでしょう」ととても誇らしげな表情です。子どもたちが自分で取り組もうとする姿や、小さな気付きを大切に『自分で出来た』経験をたくさん積み重ねていきます。



## しろくま組（5歳児クラス）

しろくま組になった緊張感も少しずつ和らぎ、楽しく過ごしています。「トランプ一緒にやろう」と友達を誘い勝負して楽しんだり、ぺんぎん組やいるか組の子が部屋に遊びに来ると「こうやって使うんだよ」「パズルうまくできない？いっしょにやろうか」と手伝う姿が見られます。また、フリースペースではそれぞれが作った線路やビルを「これつなげると街みたいになるね」と話し、大きな街が出来上がることもあります。友達同士と一緒に遊ぶ中で互いに思いを話し合い様々な葛藤をしながら、さらに遊びや友達関係が深まるようにしていきます。

